

# 都市再生整備計画

いんべちく  
伊部地区

おかやま 岡山県 びぜん 備前市

平成19年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岡山県	市町村名	びぜんし 備前市	地区名	いんべ ぎ 伊部地区	面積	83.8 ha
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度
交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度

<b>目標</b> 大目標： 世界に誇る備前焼を核とした、住む人にやさしく、観光客が楽しめるまちづくり 目標： 世界に誇る備前焼を活かし、道標サインの整備や歩道空間の整備などによって回遊性を高め、魅力ある観光拠点の創生を図る 目標： 歩行者に配慮した道路整備と併せて、駐車場、公園などを一体的に整備することにより、駅を中心とした交通利便性の向上を図り、安全・安心・快適な都市環境を創出する 目標： 協働のまちづくりにより、誰もが誇りの持てる、暮らし良いまちを目指す
--

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現状  本地区は、緑の山々と独特な赤レンガの煙突、旧山陽道に面した趣のある備前焼のお店と古い家並みが連なり、全国から備前焼の愛好家が集まる備前焼の里として発展してきた。しかし、素朴で風情のあるまちなみを残す反面、観光客への配慮が不足する感も否めず、この世界に誇る備前焼とまちづくりが上手く融合できていない状況にあった。また、地区の中央を横断する国道2号により、南北の連携が分断され、狭隘な地区内道路では流入車両などにより快適な歩行空間が確保されていない状況にもあった。 このような状況の中、「伊部地区まちづくり計画(平成12年3月)」「備前焼振興策(平成14年3月)」が策定され、その後、本計画の大目標でもある【世界に誇る備前焼を核とした 住む人にやさしく、観光客が楽しめるまちづくり】を目指した住民参加型のまちづくりとして、「BIZENかえる計画(平成14年～平成16年)」の策定、イベント・WS・フォーラムの開催、駅前道路の整備、駅前公園の整備を進めてきた。 また、本地区は、「あんしん歩行エリア」「くらしの道ゾーン」に指定されており、交通安全対策を推進するとともに、平成17年度には、伊部地区住民を中心とした「伊部の快適なまちづくり検討協議会」を立ち上げ、安心・安全・快適なまちづくりの整備計画を検討中である。 今後は、住民主体のまちづくりへと発展させるべく、これらまちづくり活動を継続していきながら、魅力ある観光拠点、安全・安心・快適な都市環境、誰もが誇りの持てる暮らし良いまちを創出していかなければならない。
--

<b>課題</b> 観光・生活動線の軸となる市道への通過流入交通により、車両と歩行者が錯綜し、安全・安心な歩行ネットワークが形成されていない。 世界に誇る備前焼のふる里であるにも関わらず、まちづくりに上手く活かされていない。 駅に併設されている交流センターに駐車場がなく、交流拠点としての機能が十分でない。また、市外のJR駅が通勤利用されるなど、伊部駅における交通拠点としての機能も十分ではない。 まちづくりに対する住民の関心は市域全体では薄いものの、当該地区では過去の経緯から関心が高まりつつあり、今後とも住民と協働のまちづくりを継続していかなければならない。
<b>将来ビジョン(中長期)</b> 【備前市第4次総合福祉計画;平成16年3月】 基本理念…豊かにかがやく明日をめざして ～夢・心・伝統が輝く文化都市 備前～ 【伊部地区まちづくり計画;平成12年3月】 基本理念…住民も観光客も楽しめる備前焼きのまち まちのランドビジョン:「まちづくり資源を活かした環境と景観づくり」「快適な道路・交通ネットワーク形成」「安心して暮らせる安全・快適な環境づくり」 【備前焼振興策(平成14年3月)】 将来像…国際観光文化都市 炎・JOY 備前(エンジョイ びぜん) 提言の3つの柱:「文化基盤の形成」「生活産業基盤の形成」「都市基盤の形成」

<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光客数	人/年	観光動態調査(岡山県発表)等を用いた年間の観光客数	観光客数の増加により、魅力ある観光拠点の創出を示す指標となる	167,000	平成17年度	184,000	平成23年度
伊部駅の利用者数	人/年	伊部駅の年間乗降客数	伊部駅の年間乗降客数の増加により、駅を中心とした交通利便性の向上及び観光拠点の創出を示す指標となる	162,790	平成17年度	179,000	平成23年度
安全・安心・快適の満足度	%	住民アンケート(住みやすさ意識調査<備前地域>)	満足度の増加により、安全・安心・快適な都市環境の創出を示す指標となる	40.6	平成18年度	50.0	平成23年度
まちづくりへの関心度	%	住民アンケート(伊部の快適なまちづくりのための住民意向調査)	関心度の増加は、協働による各種整備の推進及び啓発活動の結果であり、住民協働のまちづくりの推進を示す指標となる	36.6	平成18年度	45.0	平成23年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1; 備前焼を核とした地域資源の活用による魅力ある観光拠点の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光動線の軸となる市道伊部1号線において、歩道空間の確保や安全施設の整備による歩行者優先のみちづくりを行い、安全・安心な歩行ネットワークを形成する</li> <li>文化財や備前焼のお店、駐車場が一体となった動線を設定し、道標・サインや観光マップを作成することにより、まちなかの回遊性を高める</li> <li>備前焼屋根瓦やレンガ畳の整備、備前焼の廃材を利用した土塀や庭先景観などと調和する路地景観を形成することにより、「やきものまち」としての魅力を生み出す</li> <li>備前焼の活用など景観に配慮した施設整備により、観光客をもてなす潤いのある空間と快適な暮らしの空間を創出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活基盤(道標・サインの整備)</li> <li>高質空間形成(市道伊部1号線の整備)(路地裏景観の創出&lt;高質舗装&gt;)</li> <li>地域創造支援事業(観光情報マップの作成)</li> <li>関連事業(まちづくり協議会や活動の運営支援)</li> </ul>
<p><b>整備方針2; 安全・安心・快適なまちづくりによる都市環境の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育園・幼稚園・小学校・中学校と教育施設が集まっていることから、通学路における歩道空間の確保や安全施設の整備による歩行者優先のみちづくりを行い、安全・安心な歩行ネットワークを形成する</li> <li>伊部駅南口における駐車場や児童公園の整備により、交流・交通拠点としての利便性及び暮らしの快適性を創出する</li> <li>公園に防災機能を備えた施設を設置し、公園の機能強化とともに安全・安心なまちづくりの形成を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路(市道伊部4・65号線の整備)(市道伊部3・46・51・52号線の整備)</li> <li>地域生活基盤(伊部児童公園)(伊部駅南駐車場)</li> <li>高質空間形成(市道伊部1号線の整備)(路地裏景観の創出&lt;高質舗装&gt;)</li> <li>関連事業(まちづくり協議会や活動の運営支援)</li> </ul>
<p><b>整備方針3; 協働のまちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民と協働でまちづくりの計画及び実施を進めていくことにより、誰もが誇りの持てる、暮らしよいまちを創造していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路(市道伊部4・65号線の整備)(市道伊部3・46・51・52号線の整備)</li> <li>地域生活基盤(道標・サインの整備)(伊部児童公園)</li> <li>高質空間形成(市道伊部1号線の整備)(路地裏景観の創出&lt;高質舗装&gt;)</li> <li>地域創造支援事業(観光情報マップの作成)</li> <li>関連事業(まちづくり協議会や活動の運営支援)</li> </ul>
<p>その他</p>	
<p>住民と協働のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊部地区においては、これまでも「BIZENかえる計画(平成14年～16年)」の策定、イベント・WS・フォーラムの開催、駅前公園の整備などを住民と協働で進めてきており、平成17年度には地区住民を主体とした「伊部の快適なまちづくり検討協議会」を立ち上げ、現在は、市道伊部1号線、市道伊部65号線外、国道2号のみちづくり整備計画を検討し、住民合意を得つつある。</li> </ul> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりは、行政・事業者・住民が連携・協力して推進する必要があることから、事業者や住民を主体とした「まちづくり検討協議会」などにより、今後も継続的に地区の現状と課題を把握し、その対策について検討する。</li> </ul> <p>交付期間中の計画管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係各課で連携し事業推進を図る。</li> <li>交付事業を円滑に推進し、確実な効果をあげるため、行政とまちづくり検討協議会などが協働してPDCAを行う。</li> <li>まちづくりの経過については、随時、住民に情報公開を行う。</li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

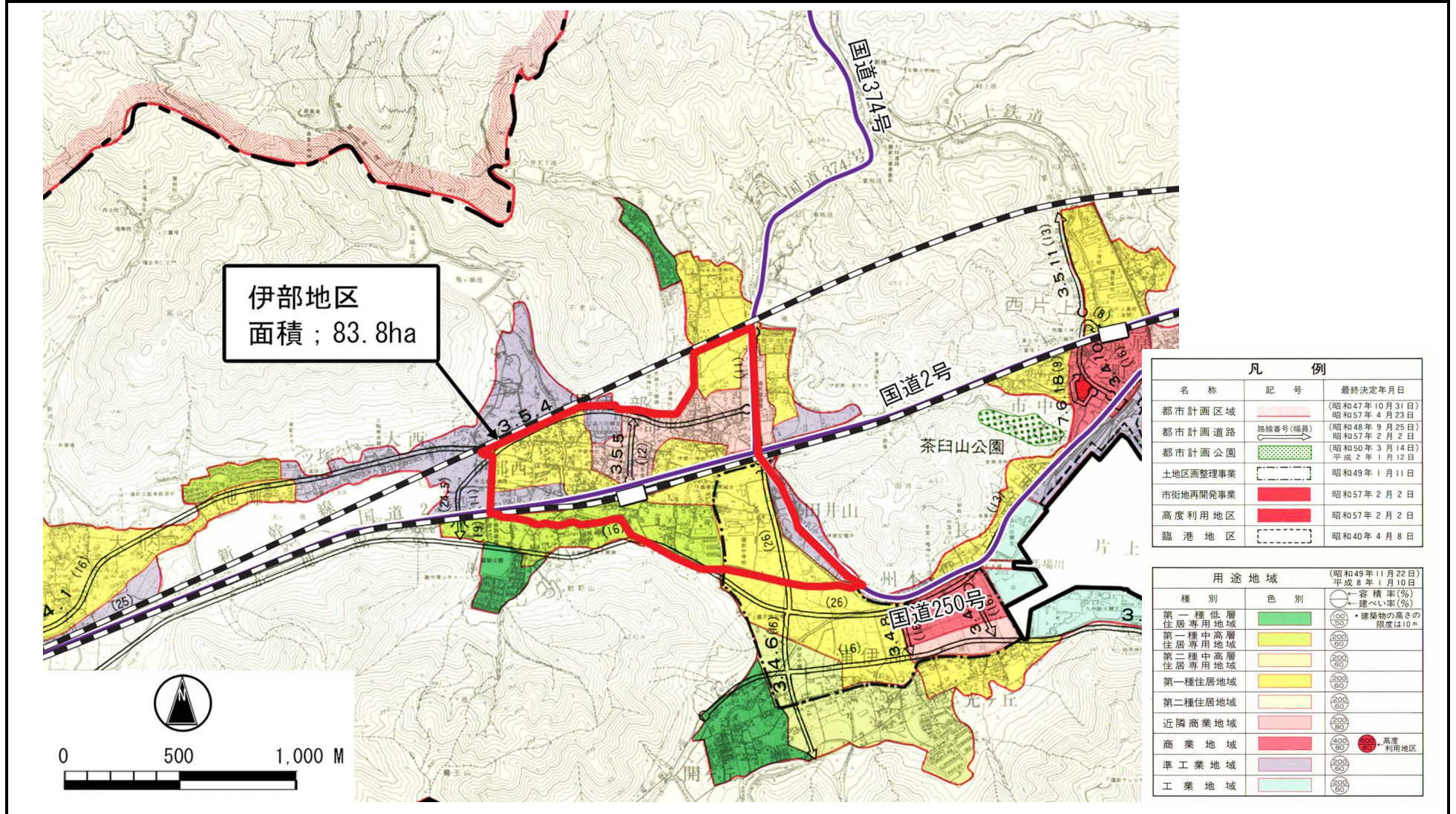
伊部地区(岡山県備前市)

面積

83.8 ha

区域

備前市伊部



## 伊部地区(岡山県備前市) 整備方針概要図

目標	世界に誇る備前焼を核とした、住む人にやさしく、観光客が楽しめるまちづくり	代表的な指標	観光客数 (人/年)	167,000 (平成17年度)	184,000 (平成23年度)
			伊部駅の利用者数 (人/年)	162,790 (平成17年度)	179,000 (平成23年度)
			安全・安心・快適の満足度 (%)	40.6 (平成18年度)	50.0 (平成23年度)

